

やさしさに感謝

一小情報ボックス(生放送)

毎週水曜 昼1:15から

商店街「来て基地放送局」にて

FMにいつ76.1 土曜10時〜

H30年 2月 新津第一小学校 ☎22-0069 FAX22-0983 *カラー版は一小HPにて



当校は平成29年度「地域と学校の連携・協働推進」において文部科学大臣表彰を頂きました。地域の支援者・団体の皆様に心から感謝をいたします。

3年生は 今「いろんなことを」考えています

今年は国語と総合の福祉学習と国際理解を合わせ「できることを考えよう」というテーマでゲストをお迎えして学習しました。

- ① 社会福祉協議会の方から福祉の説明を受けて、ブラインドウォークを体験しました。
- ② 「新潟盲導犬ハーネスの会」からは4名と盲導犬2頭が来校。子どもたちに一番印象に残ったのは「障がいがあってもいろいろな優しい人々や盲導犬との出会いがあり幸せに暮らしています。」と笑顔で話してください「だから遠慮しないで障がいのある人にも声をかけてコミュニケーションを取ってほしい。」と言われたことです。
- ③ 韓国から新潟に来て26年のイ・クムスンさん(南区在住)は伝統衣装のチマチョゴリで登場。日本のバスも良いが韓国では大きな番号表示が前後と横にあり、外国人にも分かりやすいと話してくれました。お礼に皆で韓国語の歌を歌うと涙を流して感激されていました。



クリスさんと奥さんのヨーコさん



一小の3年生は良い質問をたくさんしてくれました。聞き方もとても上手でした。

- ④ アメリカのワシントンDCから東京を経て新潟に来て10年のクリス・チャコナスさん(秋葉区在住)と奥さんのヨーコさんが来校。簡単な英語の歌と一緒に歌って踊りました。アメリカとの違いを大型画面で掲示しながら分かりやすく教えて頂き、日本の良さも再認識できました。絵本や1セント硬貨のお土産まで頂き、みんな大喜びでした。

こうしていろいろな方のお話を聞いて「自分にできること」を考え、小学生の自分たちにもできることが様々あると気付いた、有意義な学習になりました。



4年生の「一小挨拶向上プロジェクト」いいね！



4年生が全員参加で12名ずつ1月24日から6日間 朝の登校時間に玄関脇の廊下に並んで「さわやかなおはようとハイタッチ」で全校のムードを盛り上げました。ボランティアさんが作ってくれたトキ色のスカーフにはキラキラハートのビーズが縫い付けてあり、やさしく揺れています。スカーフを首に巻き、みんなの意気込みの言葉を書いたタスキも身に付けました。

アイデアたっぷりの手書き「挨拶ポスター」は地域にも掲示していただきました。見た方もいらっしやるでしょう。

昨年10月の学年会議に始まり、11月の県議会議場での見学と話し合いから飛躍的に広がったこの活動は「先生方のアイデアと行動力」が光っていました。校外学習で見学時間の余裕が出る分を議場での模擬体験へと発展させ、議会事務局もそれをよろこんで受け入れ、当日はTV局や新潟日報の取材も受けました。夕方のニュースで堂々とインタビューに答える一小児童の映像を見て「良かったよ。」と地域の方からも褒められました。1月28日新聞折り込みの「新潟県議会便り」にも写真が掲載されるなど、子どもたちが確実に自信を付けるすばらしい体験になっています。

先生方と子どもたちのやる気に対して回りが気持ち良く支援したことで4年生の心に宿った温かいものがさらに全校へと広がっています。これは当校が目指す「学社民の相互円満支援」の姿です。ご協力くださった大勢の皆様にご心から感謝いたします。

<いろいろな方々の声>

私たちが縫ったスカーフを付けて4年生が元気に活動してくれたと聞いてとてもうれしいです。

(水曜ボランティア)

なんとなく学校に寄付した布がこんなふうになんて生かされるなんて想像もしていませんでした。

学校で上手に活用してくれてこちらも「ありがとう」という気持ちです。応援しています。

(布を寄付してくださった方)

夕方のニュースで一小の子どもさんが出ていたのを見ました。びっくりしたし、「すごいことをしているなあ。」と思いました。

(水曜ボランティア)

4年生が立派な高学年になるのが目に見えます。がんばってね。

(保護者)